

秘められた過去 (1955)

CONFIDENTIAL REPORT
MR. ARKADIN

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 フランス／スペイン

色彩 B&W

時間 99分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

「市民ケーン」の傍流にあるような、一人の暗黒の人物の回想スリラーだが、ここで面白いのは、当の本人アーカディン氏が自分の過去を闇に葬り去ろうと、関係した人物を抹殺するため（もちろん、直接手を下すわけではないが）に神出鬼没の動きをすることで、ウェルズが晩年のトレード・マークとなる顔中を覆う髭をつけて、何かに憑かれたような凄みのある芝居を見せている。

タバコの密輸でイタリアで稼いでいた元駐留軍人のガイは、ナポリの波止場で殺された男から“アーカディン”の名を聞く。男はもう一人の名も呟いたが、彼には聞き取れず、一緒にいた恋人ミリーは確かにそれを聞いたようだが、彼に洩らそうとしない。大いなる謎を背後に予感したガイは、事件に巻き込まれ一切を失ったこともあって、スペインの城に住む、その大富豪アーカディンをゆするのだが、逆に彼はどうしても思い出せない、ある時期以前の自分の記憶をたどって欲しいとガイに依頼。が、これを引き受けたガイが、富豪の過去に連なる人々を見つけ出すたびに、当人たちは殺されてしまう。最後に残ったのがズーク（タミロフ怪演）。このワルシャワの貧しいアパートで病軀を横たえる男を救うことが、我が身に迫った危険から自分を守る唯一の道と信じたガイだったが……。

無人の飛行機がバルセロナ上空を飛んでいった、という実話から着想された大胆奇抜なミステリー。青年が真相にたどり着いてからの終盤が、それまでと甚だしく乖離した印象を残すが圧倒的に素晴らしい。中盤のM・オウア扮する“教授”の、ノミのサーカスなども、ウェルズ流のグロテスク・リアリズムの描写が、病的なほど冴えていた。

【クレジット】

| | | |
|----|--------------|------------------|
| 監督 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| 製作 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| 脚本 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| 撮影 | ジャン・ブルゴワン | Jean Bourgoïn |
| 衣裳 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| 音楽 | ポール・ミスラキ | Paul Misraki |
| 出演 | オーソン・ウェルズ | Orson Welles |
| | マイケル・レッドグレーヴ | Michael Redgrave |
| | カティーナ・パクシヌー | Katina Paxinou |
| | エイキム・タミロフ | Akim Tamiroff |
| | ミシャ・オウア | Mischa Auer |
| | シュザンヌ・フロン | Suzanne Flon |
| | ロバート・アーデン | Robert Arden |
| | パオラ・モリ | Paolo Mori |
| | パトリスア・メディナ | Patricia Medina |

ジャック・ワトリング Jack Watling
グレゴワール・アスラン Gregoire Aslan
ペーター・ヴァン・アイク Peter Van Eyck